

◆番組予定

解説

狂言「宝の槌」

シテ(太郎冠者)
アド(主人)
アド(すげ)
(後見)

休憩(一五分)

能「角田川」

シテ 梅若丸の母
子方 梅若丸の霊
ワキ 渡し守
ワキツレ 旅人

笛
小鼓
大鼓
地謡

後見

大藏 教義
大藏 基誠
大藏 吉次郎
宮本 昇

政木 哲司
吉田 千紘
野口 能弘
野口 琢弘

栗林 祐輔
鳥山 直也
安福 光雄

山中 一馬
鈴木 圭介
本田 由樹

柴山 芳伸
飯田 友芳
庄司 健一
柴田 亮

櫻間 金記
本田 芳樹

◆あらすじ

「宝の槌」

主人に命じられて都に宝物を買いにきた太郎冠者をすっぱが呼び止め、打ち出の小槌だと言ったのでたまたまの機を売りつけようと言います。太郎冠者もすぐには信じず証拠を見せると言うのですが、太郎冠者に呪文を唱えさせ「かつたりかつたり」と機を振ったところ、すっぱの投げた脇差が両脚の間から飛び出してきたので、すっかり信じて持ち帰ります。その機が打ち出の小槌だと聞いた主人は喜んで馬を出してみると言いますが、馬はいつかこうに出て来ません。苦しい言い逃れも底をついた太郎冠者は、主人が将来出世をして立派な家を建てる番匠の音が「かつたりかつたり」とする、だからめでたいことだと言つと、主人も太郎冠者を許し「それこそめでたけれ」と言つて和やかに終わります。

「角田川」

春の夕暮れ時、武蔵の国隅田川の渡し場で、舟頭が最終の舟を出そうとしていると旅人が現れ、女物狂がやってくる。と告げました。女は都北白河に住んでいましたが、わが子が人買いにさらわれたために心が狂乱し、息子をさがしにはるばるこの地まで来たのでした。舟頭が、狂女に、舟に乗りたければ面白く狂つて見せろ、と言つたので、女は『伊勢物語』九段の「都鳥」の古歌を引き、自分と在原業平とを巧みに引き比べて、船頭ほか周囲を感心させ、舟に乗り込むことができました。川を渡しながら、舟頭は一年前の今日、三月十五日に對岸下総の川岸で亡くなった子ども、梅若丸の話を物語り、皆も一周忌の供養に加わつてくれと頼みます。舟が對岸に着き、みな下船しても、狂女は降りようとせず泣いています。船頭が訳を尋ねると、先ほどの話の子は、わが子だということです。舟頭は狂女に同情し、手助けして梅若丸の塚に案内し、大念仏と一緒に用うよう勧めます。夜の大念仏で、狂女が母として、鉦鼓を鳴らし、念仏を唱え叩いていると、塚の内から梅若丸の亡霊が現れます。抱きしめようと近寄ると、幻は腕をすり抜け、母の悲しみは一層増すばかり。やがて東の空が白み始め、夜明けと共に亡霊の姿も消え、母は、ただ草ぼうぼうの塚で涙にむせぶのでした。

能楽を体験しよう! 「第九回体験 能楽講座」受講者募集!

今年もクリアこうのすワークショップ事業「体験能楽講座」を、シテ方金春流能楽師・政木哲司先生を迎えて行います。皆さんの参加をお待ちしております。

- ◎日時 平成29年11月6日(月)・11月13日(月)・11月27日(月) 12月4日(月)・12月11日(月)の計5回 13:30~15:30頃まで(休憩あり)
- ◎場所 鴻巣市文化センター(クリアこうのす)小ホール ※12月11日は大ホール
- ◎講師 シテ方金春流能楽師 政木哲司先生
- ◎内容 今回の演目は「角田川(すみだがわ)」です
- ◎申込み ご来館・お電話・FAX・メールでお申込できます。(申込用紙はクリアこうのすホームページからでもダウンロードできます) HP <http://clea-konosu.com/>

- ◎参加費 お一人様2,500円(謝金代・資料代)
- ◎定員 30名 先着順(定員になり次第締め切りとさせていただきます。)
- ◎受付期間 平成29年9月16日(土)~9時から17時まで
- ◎その他 各自白足袋をご用意ください。 仕舞体験のときに体を動かすため、動きやすい服装でお越しください。

お問い合わせ 鴻巣市文化センター(クリアこうのす) 事業課
TEL 048-540-0540 / FAX 048-543-0640
〒365-0032 鴻巣市中央29-1 / メール info@clea-konosu.com



大藏教義 プロフィール

昭和56(1981)年生まれ。2世大藏吉次郎の長男。駒沢大学文学部卒。祖父の第24世宗家故大藏彌右衛門及び、父に師事。4才で『業平餅』の稚児役で初舞台を踏み、今日までに狂言における大曲・秘曲、「末廣がり」「千歳」「那須」「三番三」「釣鉤」を抜く。各能楽堂での活動のほか、全国各地での学校狂言や海外公演・飛鳥2船上狂言など多数参加。



政木哲司 プロフィール

シテ方金春(こんばる)流能楽師 公益社団法人能楽協会東京支部会員 昭和48年東京都出身。さいたま市在住。故櫻間辰之及び、山中一馬に師事。平成17年「熊坂」にて初シテ。以降平成18年「石橋」、平成19年「乱」、平成24年「道成寺」を抜く。現在都内の定期能などに出演するほか、都内、埼玉各所などにおいて、お稽古や講演活動など能楽の指導、普及に取り組む。

鴻巣市文化センター[クリアこうのす]大ホール

公益財団法人 鴻巣市施設管理公社 〒365-0032 埼玉県鴻巣市中央29-1 Tel.048-540-0540

電車・バスでのアクセス

- JR高崎線 鴻巣駅(東口)より徒歩約20分
- JR高崎線 鴻巣駅(東口)よりバス利用の場合 川越観光バス・朝日バス・東武バス(3番乗り場 約5分) 免許センター行き 「市役所」又は「免許センター」(バス停)下車

車でのアクセス

- 大宮方面から 首都高速埼玉大宮線・与野出口より 国道17号線・熊谷方面…約45分
- 関越自動車道から…東松山I.C.より 約40分
- 東北自動車道から…加須I.C.より 約45分

